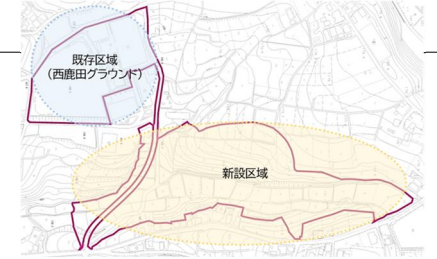


西鹿田グリーンパーク基本計画 概要版

01 計画策定にあたって(ページ:1-1)

みどり市には都市全体の住民を対象とした総合的に利用できる公園がないことや、防災機能が備わった拠点となる場所が不足していることから、災害時の活動拠点等の防災効果の創出や市民の憩いの場の創出を図ることを目的とし、平成27年度より群馬県と連携し都市公園事業として西鹿田グリーンパークの計画検討を開始しました。
西鹿田グリーンパークは、市内の大規模運動施設の再配置検討の結果をもとに、新設区域にはサッカーグラウンドを整備することとし、運動施設を中心とした総合公園として整備します。

| | |
|------|---|
| 名称 | 西鹿田グリーンパーク |
| 計画面積 | 西鹿田グリーンパーク 9.7ha 既存区域 3.3ha 新設区域 6.4ha |
| 種別 | 総合公園 |



02 現状把握(ページ:2-1)

計画区域に関連する上位計画・関連計画について、計画内容に関連する事項を整理しました。(以下抜粋)

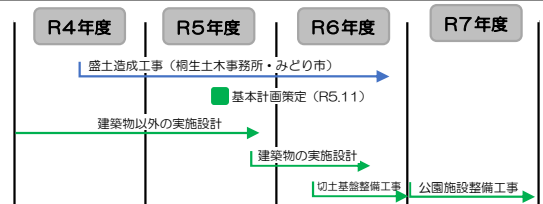
- 第2次みどり市総合計画<後期基本計画>** 輝くひと輝くみどり 豊かな生活創造都市
市民の憩いの空間として、また、災害時には避難場所として幅広く活用される総合的な公園を計画的に整備すること。
- みどり市都市計画マスタープラン** 豊かな自然と多様な特性を生かし、人々が心豊かに生活できるまちづくりの実現
広域的な誘客とスポーツによる地域間交流の促進を図るため、地域に調和させた、都市基幹公園の総合公園として整備すること。
- みどり市スポーツ推進計画**
西鹿田グリーンパークには、現状における利用需要や近隣市町村での施設整備状況を踏まえ、サッカー場を整備すること。

03 意見収集(ページ:3-1~3-2)

- ワークショップやサッカー競技関係者との懇談会で頂いた主なご意見を整理しました。
- スポーツ・健康増進** サッカーの大会利用ができるグラウンド整備・機能配置が求められる。
 - 賑わい** 周辺公園にはない遊びの場の形成が求められる。
 - 防災・安全** 災害時及び日常利用の安全性(ボールの飛び出し防止対策、周辺道路の整備、夜間の公園利用方法、防犯カメラや照明等の防犯設備)への配慮が求められる。
 - 景観・地域連携** 地域の特色を生かしたつながりのある公園整備が求められる。

○今後の予定

基本計画は第1回(R4.12.20~R5.1.20)・第2回(R5.5.23~R5.6.23)のパブリックコメントを反映し、令和5年11月に策定しました。
また、工事については、令和4年度から実施している盛土造成工事を令和6年度に終了予定としています。施設工事は盛土造成工事と並行し、令和6年度開始予定です。



04 基本方針(ページ:5-1)

上位・関連計画や頂いたご意見を踏まえ、西鹿田グリーンパークの基本方針を以下のように設定します。

- 西鹿田グリーンパークの将来像**
豊かな自然と文化が調和する市民のにぎわいと憩いの空間
- 市民ニーズの高いサッカーを幅広い年齢層が楽しめる公園**
 - 様々な年代の大会開催に対応したサッカーグラウンドや機能を確保します
 - 日常的な運動ができる空間を確保し、地域住民の健康増進に寄与します
 - サッカー利用者・公園利用者の安全性を確保し、日常利用も可能な工夫を施します
 - 家族連れなど、子どもから大人まで憩い、交流できる多様性のある公園**
 - 子どもから大人まで安全かつ自由に遊ぶことのできる場を確保します
 - 多世代の地域住民が交流できる場を創出します
 - 公園利用者の利便性に配慮した空間整備を行います
 - 誰もが安全に利用できるようにバリアフリーな空間を形成します
 - 災害時にも活用できる活動拠点としての公園**
 - 渡良瀬幹線道路との近接性を生かし、広域的な防災活動の拠点として整備します
 - 平時・夜間の安全性も確保し、地域住民が快適に利用できる場を整備します
 - 周辺資源をつなぐ景観に配慮した公園**
 - 地域を象徴する樹木などを取り入れ、自然や地形を感じられる空間を創出します
 - 周辺資源とのつながりを意識した施設、園路の配置を行います

■問合せ先

公園に関すること……みどり市都市建設部都市計画課
TEL:0277-76-1903 FAX:0277-76-1951
運動施設に関すること…みどり市保健福祉部健康づくり局スポーツ振興課
TEL:0277-46-9068 FAX:0277-72-0500

西鹿田グリーンパーク基本計画 概要版

05 基本計画図(ページ:6-1~6-18)

基本方針及びゾーニング等のこれまでの検討事項を踏まえ、新設区域の基本計画図を作成しました。

①メイングラウンド・観客スペース

市町村単位の大会や高円宮杯JFAU-18サッカープレミアリーグ等の大会の開催が可能な競技水準を確保したメイングラウンドを設置(成人コート1面、少年コート利用時は、2面)
観客スペースは、サッカーグラウンドの西側に屋根付きのスタンドベンチと芝生スタンドを配置するほか、少年利用時にも観戦しやすいよう南北にも芝生スタンドを配置

②ウォーミングアップ広場

サッカーの練習ができるよう平坦に整備し、サッカー以外のイベントや平常時の子どものボール遊び場にも利用でき、地域住民の日常的な健康づくりができる空間を整備

③にぎわい広場

南北に長い形状を生かして子どもの年代別にゾーンを分ける、地形を活かした遊具を配置するなど、安全に多様な遊びや使い方ができるように整備

④イベント広場

パークステーション(管理棟)を整備してサッカー利用者やにぎわい広場を利用する公園利用者が交流できる空間とし、キッチンカーが入ることのできるスペースを確保
イベントがない平時は子どもが自転車等の乗り物を安全に練習できるスペースを形成するなど、柔軟に利用できる空間として整備

「みどり5つのゼロ宣言」の取組み

- ・太陽光エネルギー利用促進によるエネルギーの地産地消
- ・ソーラー発電の園路灯等の整備を検討

遊具について

幅広い年代が多目的に憩うことのできる広場として遊具等を設置します。

設置する遊具は以下3点について考慮し選定を進めています。

- ・子どもの年代別にゾーンを分けること
- ・インクルーシブな遊具を設置すること
- ・地形を活かした遊具を配置すること



(出典:大阪府狭山市副池オアシス公園)

(出典:道の駅まえばし赤城)

遊具の設置イメージ

西鹿田グラウンドとの連携

- ・大会時の予備のグラウンドとして使用
- ・臨時駐車場、バスのロータリーとして使用
- ・多目的な利用ができる空間としての整備を検討

パークステーション(管理棟)

サッカー等のスポーツ利用時だけでなく、公園利用者が利用できる施設として設置します。

- ・公園管理室
- ・救護室
- ・多目的ルーム(大会利用時は、更衣室として利用)
- ・赤ちゃんの駅(おむつ替え、授乳室)
- ・多目的トイレ
- ・器具庫など

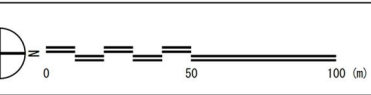
南側駐車場(スポーツ利用者向け)

- ・災害時の緊急車両に対応できるように出入口を2箇所設置

道路沿いに園路を設け、歩行者の安全性を確保

園路

- ・幅員はイベント車両や公園管理車両の出入りを考慮し約3.0m(防災時の利用に考慮し西側は6m)とし、バリアフリーの勾配(8%以下)を確保
 - ・園路沿いに健康遊具や休憩できるベンチ等を点在
 - ・日常利用としてウォーキング・ジョギングで使えるようなコースを整備
- :Aコース(約1.0km) —:Bコース(約0.8km) —:Cコース(約0.5km)



北側駐車場・駐輪場
公園利用者向けの駐車場を配置

周辺施設(鹿田山フットパス、かたくりの湯等)との連携

- ・西鹿田グリーンパークが拠点となるウォーキングコースの設定
- ・周辺施設に係る各種計画を踏まえた整備を検討

